

和華蘭の窓

長崎大学附属図書館報

THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

2014.7 No. **122**

医学分館 リニューアルオープン

- 医学分館リニューアル開館に寄せて 2
- イベントレポート 3
- 医学分館をあるく 4
- 近代医学史料展示室を訪ねる 6
- topics 7
- information 8



医学分館リニューアル開館に寄せて

医学分館長 増崎 英明

このたび医学分館が新しくなった。どの箇所がどのように新しくなったか、それらは別に記載されるそうであるから、ここでは触れない。昔から、女房と畳は新しい方がよい、という文言があるように、新しさというものはそれだけで心が浮き立つものである。新しい医学分館の前に立つと、以前にそこにあった古色蒼然たる景色が一掃されたのを感じる。春の新しい風が気持ちよく頬をくすぐる。煉瓦色の壁が自分を招いているようにさえ感じられる。おのずから学問への意欲が湧いてくるようである。

さて、この度のリニューアル開館を記念して講演会“鷗外の恋人”を6月21日(土)～22日(日)に開催した。

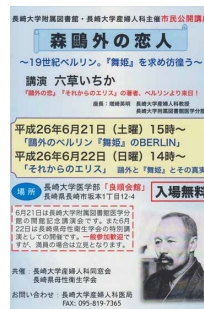
森鷗外は、明治27年(22歳)、衛生学を学ぶためドイツに留学し、そして4年後に帰国した。鷗外の軍医としての前途には輝かしい未来が待っていたはずだが、帰国してわずか四日後、ドイツでの恋人が横浜港に上陸した。彼女は1ヶ月ほど日本に滞在してのち帰国した。その間に何があったか、鷗外は無言で通した。しかし物事は隠そうとすればするほど、他人の興味を惹く。そして、その時は隠し通したつもりが、時代を経ていずれは顕れる。事件の回りにいた家族は、本人のためを思って隠しても、本人である鷗外は文章家である。どこかに書き残さずにはいられない。森鷗外はドイツから帰国して2年後、『舞姫』を発表した。そこには、エリスという美少女が登場する。さらに14年後、日露戦役に第二軍軍医部長として出征した際は、凱旋後『うた日記』を出版した。その中に厳しかった南山の戦いを詠んだ詩『扣鈕(ぼたん)』がある。

「南山の たたかひの日に、袖口の こがねのぼたん ひとつおとしつ その扣鈕惜し。べるりんの 都大路の ばつさあじゆ 電灯あをき 店にて買ひぬ はたとせまへに。えぼれつと かがやきし友 こがね髪ゆらぎし少女 はや老いにけん 死にもやしけん。はたとせの身の うきしづみ よろこびも かなしびも知る 袖のぼたんよ かたはとなりぬ。云々」そういう詩である。

1981年には、エリスがドイツから日本、日本からドイツへ渡航した船の名前が明らかにされ、その乗船名簿から、エリスの本名、エリーゼ・ヴィーゲルト (Elise Wiegert)、が知られるようになった。その後、さまざまな調査が行われる中で、最終的にエリスの真実を発見し

たのは、ベルリン在住の文筆家、六草いちか氏である。六草氏の探し出したエリスの真実とは何か。ドイツにおけるエリスと鷗外の関係。鷗外を追って来日した理由。『舞姫』で踊り子とされたエリスの職業。そして、何よりも金髪を揺らせていた少女の面影。六草氏はあまたの障壁を乗り越え、ついにエリスの写真を手に入れた。鷗外とエリスの長い長い物語がついに明らかにされたのである。

周知の如く鷗外は医者である。コッホに師事した研究者でもあった。一方で文筆家であり読書家であり、帰国後もドイツの新聞を取り寄せていた文化人であり、大変な知識人でもあった。森鷗外は、いかにも医学分館新装を祝うに相応しい人物であろう。そういう意味を込めた森鷗外に関する講演会であり、今回は多くの方に楽しんでいただけたと感じる。



記念講演会ポスター



記念講演会での対談の様子

最後に、女房と鍋釜は古いほどよい、との文言もある。これもまた至言であろう。消えていった古い図書館は、一定の期間、私たちに勉強の場と憩いの時間を与えてくれた。古い図書館を愛惜の念を持って送り出そうではないか。人の真の姿が見かけではなく教養に現れるように、新しくなった図書館はいわば「入れ物」であって、真なる図書館の意義がその蔵書にあることは言うまでもない。これからの充実が望まれる由縁である。

※六草氏の著作2冊は医学分館に所蔵しています。是非ご利用ください。



鷗外の恋：舞姫エリスの真実
医学分館 2F：図書 913.6||R63,
ID:2147874



それからのエリス：いま明らかになる
鷗外「舞姫」の面影
医学分館 2F：図書 913.6||R63,
ID:2147932

イベントレポート

医学分館リニューアルを記念して行われた、2つのイベントの模様をお伝えします。

1 医学分館リニューアルオープン記念式典

医学分館の増改築工事の竣工を記念して、5月28日(水)にリニューアルオープン記念式典を行いました。当日は、本学の関係者約40名の出席がありました。

式典では、片峰茂長崎大学長、増崎英明医学分館長の挨拶に続き、昨年11月に長崎大学に來学したJ.D.ワトソン博士のサイン入りNature論文別刷の贈呈式が開催されました。



Nature 論文別刷贈呈の様子 (左から松山俊文教授、増崎英明医学分館長)

その後、玄関前でテープカットが行われ、森望附属図書館長の謝辞の後、医学分館職員のご案内で館内見学を実施しました。

式典で贈呈をいただいたNature論文別刷については、複製を医学分館1階ラーニングコモンズに、本物は近代医学史料展示室に、それぞれ展示いたします。



テープカット (左から、山本あゆみさん(学生)、森附属図書館長、片峰長崎大学長、増崎医学分館長、小路医歯薬学総合研究科長、山脇健司さん(学生))



館内見学の様子 (近代医学史料展示室)

増崎医学分館長挨拶

本日はかくもたくさん集まっていたいただいて、お礼をまずは申し上げたいと思います。私は昨年から医学分館長ということになったわけですが、実際は何もしてなくて、今までの間何があったかという、この分館が粛々と建築されていたわけであり、それでやっとお披露目のときが来たということで、私もやっと今から図書館の分館長ができるかと思っています。

今日はこのあとまた、新しくできたこの建物をみなさんで見て回るという企画もございますので、ぜひ最後までご臨席賜ればと思います。本日は本当にありがとうございました。



2 記念講演会「鷗外のベルリン『舞姫』のBERLIN」

6月21日(土)に、医学部良順会館2階ボードインホールで、ベルリン在住の歴史随筆家である六草いちか氏による講演会「鷗外のベルリン『舞姫』のBERLIN」が開催され、一般市民を含めた31名の参加がありました。この講演会は、リニューアルした医学分館の開館記念講演会でもあり、増崎医学分館長が座長を務め、森鷗外の『舞姫』で描かれた19世紀後半のベルリンについて、豊富な図版を用いての講演がありました。講演会の後は、医学分館の館内見学会が開催されました。

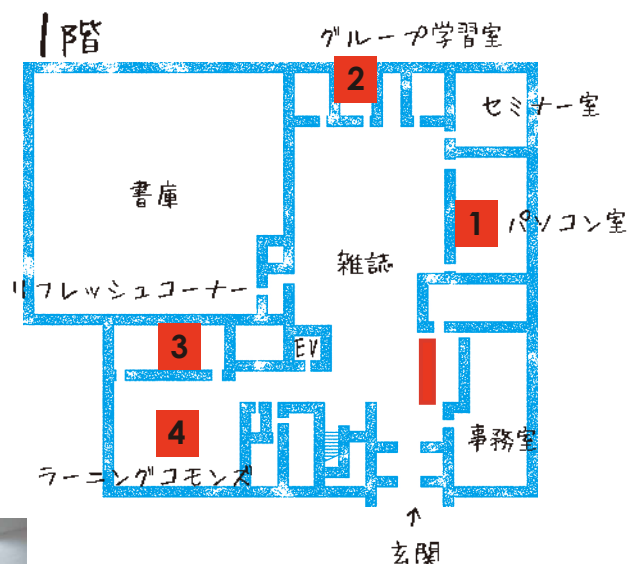


講演中の六草いちか氏

医学分館を あるく



医学分館は、5月28日（水）にリニューアルオープンしました。今回は、特に大きく変わった1階を中心に、カウンターから近代医学史料展示室まで、新しい医学分館を紹介します。



学生や教職員の皆さんが使えるパソコン20台を設置しています。この部屋ではデータベースの講習会などを開催していきます。



最大8名まで利用できる部屋が3室あります。9名以上の利用はセミナー室をどうぞ。



入ってすぐの所にサービスカウンターを移動させました。お気軽にスタッフまで声をかけてください。

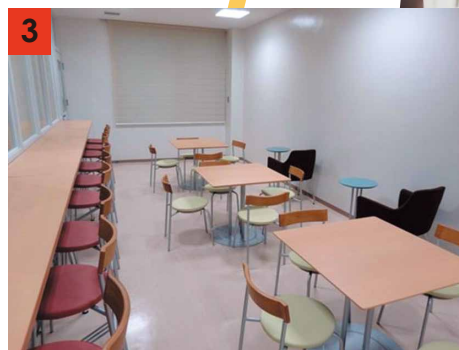


医学部医学科
淵野 萌子さん

待ちに待った医学分館のリニューアルオープンに早速行ってきました！

まず、2階閲覧室の自習スペースがたくさん増えました。机も新品でやる気がでそうです！

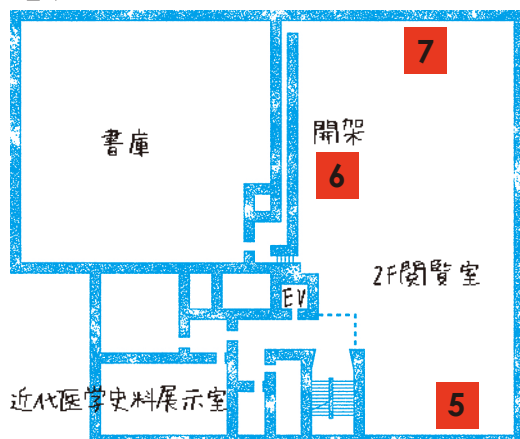
またみんなで一緒に勉強できるラーニングcommonsやちょっと休憩もできるリフレッシュコーナー、パソコン室もできたのでこれからのテスト勉強などに通いつめること間違いありません（^^）



これまで医学分館にはなかった、「飲」・「食」共にとれる部屋です。臭いの強いものや、汁物をご遠慮ください。



2階



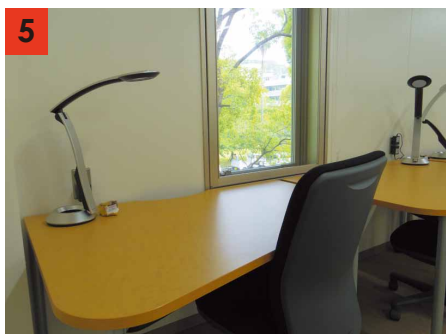
2階に上がると広々と明るい閲覧室。

お気に入りの窓際席に腰かけると、深呼吸でもしたくなります。十分に大きな机に書棚から引き抜いた資料を広げて、考えをまとめる。たったそれだけのことが、ここでは嬉しい時間になり得るのです。

そんな新しい医学分館は僕にとって、一日を過ごしたくなるような心地の良い居場所になりそうです。



歯学部
青木 暢さん



以前はグループ学習室だったエリアに座席ができました。窓からは、医学部基礎棟や熱帯医学研究所、原爆後障害医療研究所の建物が見えます。



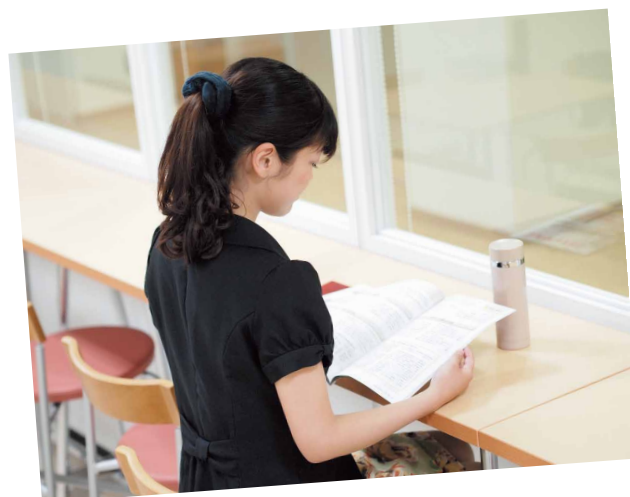
医学・歯学・保健学関係の図書を中心に、約15,000冊の図書や視聴覚資料があります。



こちらの窓からは、長崎大学病院や保健学科を望めます。



開放的な空間で、グループでの学習やパソコン作業などができます。



Goal!!

近代医学史料展示室を訪ねる



医学分館の2階にある近代医学史料展示室も、増改築に合わせてリニューアルしました。展示室では、150年以上も前から続く、長崎大学医学部の歴史を知ることができる貴重な史料を常設展示しています。このページでは、その中から一部を紹介します。

日本植物誌

長崎・出島の医師だったシーボルトは、博物学の研究もしていて、日本の植物をヨーロッパに紹介しました。帰国後、日本から持ち帰ったたくさんの植物標本と絵を使って Flora Japonica (『日本植物誌』) を完成させました。



キュンストレーキ

ボンペが学生に人体のしくみを説明するため、フランスから1860年に輸入しました。日本最古の紙製解剖模型です。もともとは、男性の人体模型で、取り外しできる内臓が入っていました。



昔の学生は、実際に人体を解剖して勉強することが難しかったので、たいへん役に立っていました。

1945年8月9日の原爆の被害を受けましたが、奇跡的に焼け残りました。表面には焦げ跡があり、溶けたガラスのかけらも埋まっています。

修学旅行生による貴重資料の見学



6月5日(木)、福岡県太刀洗市立大堰小学校など3つの小学校から来た修学旅行生が、近代医学史料展示室の見学に来館しました。新しくなったばかりの展示室で、引率の先生を含めた79名が、図書館職員の説明を聞きながら、養生所の泥絵や皮膚病のムラージュ（ロウ製の模型）などを熱心に見学していました。

近代医学史料展示室利用案内

近代医学史料展示室は、どなたでも見学が可能です。見学時間は、平日(月～金)午前9時から午後9時まで、土日祝日午前10時から午後6時です。1階のカウンターで『展示室見学希望』とお伝えください。

見学に際して、予約は不要です。但し、団体(10名以上)でのご利用、展示解説のご希望、展示品以外の貴重資料の閲覧等につきましては、できるだけ7日前までにご相談ください。

予約・問合せ先

長崎大学附属図書館医学分館
医学情報担当

TEL:095-819-7013

MAIL:medinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp



図書館サポーター表彰式



4月10日(木)、昨年度図書館を盛り上げるために活動してくれた図書館サポーターへの感謝状贈呈式を行いました。式では、出席いただいた5名の方々に、附属図書館長からの感謝の言葉が綴られた記念品と図書カードをお渡ししました。

今年度は新たに11名が加入し、図書館のサポートを行ってくれることになりました。今後の図書館サポーターの活躍にご期待ください。

ベストリーダー表彰式



4月24日(木)、中央図書館ギャラリーにて、ベストリーダー表彰式を執り行いました。

この賞は、昨年度1年間で最も多くの本を借りた学生を対象にしたもので、読書を通して学生時代にさらなる教養を深めてほしいという思いから、昨年新設したものです。

平成25年度は、全体の上位2名、各学部ベストリーダー9名(医学部については、医学科・保健学科の2名)の計11名を表彰対象者とししました。式当日は5名に出席いただき、表彰状と副賞(図書カード)をお渡ししました。

受賞には継続的な図書館の利用が必須です。ぜひ図書館を使って、学生生活を充実したものにしてください!

日蘭文庫開設披露会

附属図書館では、旧日蘭学会から寄贈を受けた日蘭交流関係資料を整備し、中央図書館2階貴重資料室内に「日蘭文庫」を開設しました。これを記念して、平成26年5月22日(木)、中央図書館多目的ルームにて「日蘭文庫」開設披露会を開催しました。

当日は、旧日蘭学会関係者、長崎日蘭協会関係者、学内関係者を招いての開設記念式典、ならびに開設記念シンポジウムを行いました。シンポジウムでは、松本俊旧

日蘭学会常務理事(元在オランダ大使館公使)、木村直樹多文化社会学部准教授、森望附属図書館長の講演があり、会食をかねた懇談会では、出席者間で今後の日蘭文庫の活用、充実等について活発な意見交換が行われました。

日蘭文庫は日本語、英語、オランダ語の約7,000点の図書、オランダ商館関係文書のマイクロフィルム、フリース(元オランダ大使)コレクション等で構成されています。

本学教員著作資料 (2014年2月~2014年5月ご惠贈分)

高橋 和雄 名誉教授 [工学部]

九州における昭和中期の巨大豪雨災害の災害教訓の継承に関する調査:

九州地方計画協会公益事業支援事業:平成25年度 / 高橋和雄 [著]

[中央図書館 369.33||Ta33 1575220]

災害伝承:命を守る地域の知恵 / 高橋和雄編著

[中央図書館 369.3||Ta33 1576687 ほか]

勝俣 隆 教授 [教育学部]

中世小説の生成発展過程の研究:伝本・説話・挿絵を中心に / 勝俣隆研究代表

[中央図書館 910.24||Ka88 1842655]

異界と常世 = L'autre monde et l'au-delà / 篠田知和基編

[中央図書館 164||Sh66 1561878]

神話・象徴・図像 3巻 / 篠田知和基編

[中央図書館 164.04||Sh66||3 1575365]

鈴木 慶子 教授 [教育学部]

記述力の変容を促す書字行動及び書字習慣の追跡と分析 / 研究代表者 鈴木慶子

[中央図書館 375.1||Su96 1842656]

経済学部

戦前期文献目録:長崎大学経済学部東南アジア研究所所蔵 / 長崎大学経済学部編

[経済学部分館 029.7||N21 3179407 ほか]

医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

換気能から見た中耳疾患の病態と治療 / 高橋晴雄著

[医学分館 496.6||Ta33 2147902]

第36回館内展示（中央図書館） 「新書でワンランク上の自分に！」

中央図書館では、幅広い分野の入門書であり、手軽さが魅力の新書にスポットを当てた展示を行います。この夏、自分の専攻ではない分野にも目を向け、視野を広げてみませんか？ どうぞご利用ください。

期間：2014年7月22日（火）～9月30日（火）
場所：中央図書館2階展示コーナー

夏季長期貸出

今年度も夏休みに合わせて、長期貸出を実施します。この機会に、読みたかったあの本に、じっくり取り組んでみてください。

対象資料：中央図書館・経済学部分館所蔵資料
（※医学分館所蔵資料は対象外）
貸出期間：7月22日（火）～9月22日（月）
返却期限：10月6日（月）

9月の閉館時間が20時に！（中央図書館）

今年から中央図書館の9月の閉館時間を、従来の17時から20時に変更しました。実習の行われている学生さんのご要望におこたえました。これを機に夏の図書館で勉強に励んでください！

試験期及び夏季休業期間は、開館時間が通常と異なります。

詳しくは、開館カレンダーをご確認ください。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/cal/14/cent.htm>

英語多読コーナー設置（経済学部分館）

経済学部分館1階閲覧席エリアに英語多読コーナーを設けました。英語のインプット量を大幅に増やす「多読」学習に取り組んでみませんか？

カウンターでは、CDプレーヤーやヘッドホンも貸出していますので、リスニングしながらの学習も可能です。

たくさんのご利用お待ちしております。



今号の表紙

医学部保健学科
看護学専攻

山本あゆみさん



今号の表紙は、5月の医学分館リニューアルオープン記念式典で、学生代表でテープカットを務めてくれた山本あゆみさんです。実習中の忙しい合間を縫って、撮影&インタビューに応じてくれました。

—新しくなった医学分館の印象はいかがですか？

「明るくなって、立ち寄りやすくなったと思います。坂本キャンパス内には、グループ学習ができる場所が少なく困っていたので、そういうスペースが増えたこともとてもいいですね」

—現在実習中だそうですね。

「今は3年生後半から続いた実習の集大成です。助産師実習の終了する8～10月頃まで続きます」

—加えて卒論もあるとか。かなりハードですね！後輩のみなさんへアドバイスはありますか？

「記録を効率よくとることがとても大事です。それによって睡眠時間が確保できるかが決まります（笑）。家で作業すると捗らないので、ぜひ図書館を活用してください」

私のイチオシ

●東野圭吾著『悪意』中央館2F:文庫、913.6||H55, ID:1533401
「終盤で「してやられた！」と思わされます。ミステリーが好きで、他には松本清張、実用書や哲学の本なども読みます」



●篠原一之著『赤ちゃんは何を伝えようとしているの？』医学分館2F:図書、599||Sh67, ID:2804686
「医学部・篠原一之先生の著書です。お母さん目線に立った書き方をされているので、とてもわかりやすく、現場でも実際に活用できる情報が満載です」



2冊とも図書館で所蔵しています。みなさんぜひ読んでみてください。

和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 第122号 2014年7月15日発行

編集・発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2200 Mail: libnews@lb.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>